受賞者≪三菱倉庫株式会社大阪支店≫

＜全国初の総合効率化計画の認定取得など、物流における環境負荷低減に向け邁進中＞

・物流総合効率化法に基づく総合効率化計画の認定を全国で最初に取得
・平成 19 年 3 月に支店所管の全ての倉庫施設において、グリーン経営認証を取得
・地域のトップランナーとして、物流における環境負荷低減に積極的に取り組む
・省エネ型の配送センター倉庫の建設
・大規模な医療品共同輸配送の実施

１．省エネ型配送センターの建設

三菱倉庫株式会社大阪支店は、大阪市此花区桜島にある倉庫施設の大規模な再開発を行い、特に平成 15 年以降は、医薬品の保管・配送に適した配送センターを相次いで竣工・稼働させた。

（ 桜島地区の倉庫群 ）

平成 20 年３月に竣工した桜島３号配送センターは、氷蓄熱式空調システムや全熱交換器による換気、倉庫内の高効率照明、事務所の人感センサー式照明等の省エネ設備を積極的に導入し、建築物環境性能評価システム「CASBEE 大阪」において A クラス（５段階中４番目）の格付けを受けている。

２．医薬品の共同輸配送

共同輸送は、従来から茨木市内の医薬品配送センターにおいて実施していたが、再開発後の桜島地区では、より大規模に行なっている。桜島２号及び３号配送センターは西日本最大級の配送センターとして機能しており、温度管理が可能な医薬品専用車によって複数の荷主の商品を混載、輸送しているほか、ドライバーに対して輸送品質についての教育を実施し、効率的で環境負荷の少ない輸送体制を構築している。

また、桜島２号配送センター北棟及び３号配送センターは複数顧客の物流施設を集約したもので、トラック積載率の向上及び車両台数の削減により CO２排出量の削減効果が高いことから、いずれも総合物流効率化法に基づく総合効率化計画に認定されている。桜島２号配送センター北棟（平成 17 年 10 月竣工）は、同計画の認定第一号となった。

桜島２号配送センター北棟の CO２の削減効果は、約 23%（年間約 1,300 トン）、桜島３号配送センターについては約 20%（同 300 トン）である。

（ 医薬品配送専用車 ）

３．グリーン経営認証の取得

平成１９年３月に大阪支店内の全倉庫施設においてグリーン経営認証を取得、不要照明の消灯等により CO２排出量原単位の１%削減に取り組んでいる。